

令和7年度岩手県生涯学習推進研究発表会【パネルディスカッション】令和8年1月30日(金)13:15~  
「博物館をもっと面白くする視点—地域と共に考えるこれからの可能性」

事例発表① 北上市立博物館 渋谷洋祐

## はじめに

### 北上市

- 人口約9万人、県南西部にある農業と工業が盛んなまち
- 江戸時代…盛岡藩と仙台藩だったエリア（藩境のまち）
  - …北上川舟運の拠点、奥州街道の宿場町
  - 人やモノが行き交う場所
  - ⇒「進取の気風」をもつ風土

### 北上市立博物館

- 昭和48年(1973)4月 県内内陸部初の総合博物館としてオープン  
テーマは「北上川流域の自然と文化」
- 平成4年(1992)10月 付属野外博物館・みちのく民俗村オープン
- 平成27年(2015)4月 みちのく民俗村、市長部局商工部に移管
- 平成28年(2016)9月 市の歴史的特徴に絞り、リニューアル  
同時に和賀分館を新設
- 現在、52年目



陣ヶ丘（北上市立花）から北上川を望む

## 本日お話する内容

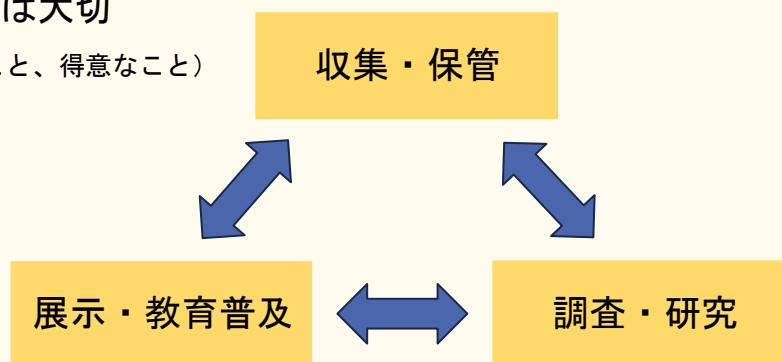
1. 求められることに向き合った事例
2. 博物館らしさを出した事例

「地域とのつながり」「博物館の面白さ」を考える一助となれば…

## 1. 求められることに向き合った事例

「基本」は大切

(やるべきこと、得意なこと)



例えば

「こんなのが出てきた…」

「こんなものがあるけど、何かやってほしい…」という声

→ひとまず前向きに捉えてみる。

(やるべきこと、得意なことで応えられることは?)

## 博物館の「基本」は強み

●収集・保管 → モノがある。残すことができる。

●展示・教育普及 → 伝えることができる。

●調査・研究 → 方法論を用いた努力ができる。

→やるべきこと、得意なことで、どんなことができるか？

## 事例1 特別展「慶念坊とその時代」H30(2018)年度

スタートは映画制作を見据えて地域を盛り上げたいとの声

### 慶念坊 (きょうねんぼう)

文政3年(1820)～明治4年(1871) 現北上市和賀町山口生まれ

山仕事を生業にしていたが、20代半ば頃、故郷を旅立ち、仙台・称念寺で浄土真宗の僧となる。諸国行脚の後、現在の宮城県涌谷町を拠点とし、布教とともに、間引かれそうになる赤ん坊の救済を行った。救われた赤ん坊は53人に及ぶという。涌谷の瀧澤寺では、毎年、命日の7月5日、慶念坊を慕う人が大勢集まり、好物だったとされる餅を食べる餅供養が行われている。

→博物館のやるべきこと、得意なことで応えられることは？

- 慶念坊は何者？そもそもの根拠は？ →調査ができる。
  - 地元出身で仙台藩で活動した人物 →展示ができる。
  - 準備過程でつながった人脈や地域 →学習会ができる。
- 調査、展示会、学習会を実施
- ⇒展示解説図録、研究報告書で継承ができる。

【展示会期：平成30年7月21日(土)～9月24日(月)】



学習会（展示風景）H30. 8. 26



学習会（フォーラム前）H30. 8. 26



学習会（涌谷）H30. 9. 2



学習会（涌谷）H30. 9. 2



慶念坊肖像画  
慶念坊の活動を支えた藤田徳山(慶念坊)が描かれたものといわれる。  
東京府立歴史館 蔵書 1997.2.16撮影

目次

- ・ 開催にあたって
- ・ 巻頭写真／目次
- ・ 慶念坊の生涯と受け継がれる精神
- ・ 特別寄稿一
- ・ 北上市時代の慶念坊とその背景
- ・ 菊池國雄（前朝野史談会会長）
- ・ 慶念坊略傳
- ・ 櫻井伸孝（浦谷町文化財保護委員長）
- ・ 展示資料 一覧
- ・ 『正定坊教念一代之略縁記』
- ・ 年表
- ・ 慶念坊に関する書籍等

41 38 19 18 12 6 2 1

展示解説図録

高橋和孝：平姓安徳氏と源姓小原氏 ..... 96 (33)

渋谷洋祐・阿部友実：『正定坊教念一代之略縁記』について ..... 106 (23)

菊池國雄：『正定坊教念一代之略縁記』の浦谷から北上への経緯を探る ..... 108 (21)

平成30年度特別展「慶念坊とその時代」関連事業 フォーラム「慶念坊を語る」 ..... 128 (1)

パネラー 櫻井伸孝・菊池國雄 / コーディネーター 渋谷洋祐

『北上市立博物館研究報告』第21号 H31(2019)3月発行

フォーラムほか、慶念坊が語られる根拠となっている『正定坊教念一代之略縁記』翻刻・解説の成果を記録として残す。

柔軟に、でも博物館の「基本」からは離れない。

- 展示・教育普及 → 「今の人」とつながる取り組み。
- 調査・研究 → 「未来の人」とつながる取り組み。  
(収集・保管)

「今の人」「未来の人」両方につながる取り組みができる。

(結果的に映画制作は実現には至らなかった。)

## 2. 博物館らしさを出した事例

- 「調査・研究」を全面に出した学習会  
…オーソドックスな手法に醍醐味があるのでは？
- 博物館どうしのつながりを求めた展示会  
…違った側面がみえるのでは？

### 事例2 歴史講座「江戸時代の北上」R5, 6(2024, 25)年度

情報を得やすい現代、あえて硬派な講座をやってみる。

地域の歴史が自分ごととなったら面白くなるのでは？

- 先行研究等を提示 → 大きな流れを一緒に掴んでいく。
- 古文書や絵図を提示 → 一緒に読み解き、考えていく。

令和6年度北上市立博物館歴史講座「江戸時代の北上」(第2回)  
 宿場のすがた—江戸時代の鬼柳と黒沢尻—  
 令和7年3月23日(日)10時30分～ 於 北上市立博物館  
 北上市立博物館 渋谷洋祐

【本日の内容】

はじめに

1. 宿場・宿駅とは
2. 正規の宿駅・鬼柳
3. 間宿・黒沢尻
4. 史料からみえる2つの宿場のすがた(その一端)

まとめ

【はじめに】

「細見」や「道中記」、「商人鑑」にみえる鬼柳、黒沢尻、その違いは？

・細見(さいけん)

…「地図、案内書など、詳細に見られるように作って示したもの。『五海道中細見記』。特に、妓楼名、遊女名、揚げ代などを細かに記した遊里の案内書。主として、江戸吉原のものをいう。(中略)安永4年(1775)篤屋重三郎が美濃半截堅型で、町筋を挟んで娼家が上下脱み合いになる新趣向の「籠(まがき)の花」を刊行し、寛政期(1789～1801)に判型が半紙半截に縮小されたが、上下脱み合い形式は踏襲されて定型となった。(後略)」 \*『日本国語大辞典 第2版』

・商人鑑(あきんどかがみ)

…商人一覧が書かれた冊子。「鑑(かがみ)」…手本、図鑑 \*『日本国語大辞典 第2版』

○宿駅伝馬制の維持・管理

- ・統治権者は幕府
- ・諸藩では自領にある街道の維持が義務化
- ・各地域の住民に伝馬役が課される。

●陸上交通の整備から展開

17世紀前半～半ば(公共交通組織が整備された時代)

○慶長年間(1596～1615)

…五街道(東海道、中山道、日光街道、奥州道中、甲州街道)等重要街道の整備

○元和2年(1616)～寛永8年(1631)

…江戸を中心とする關所体系の構築

・關所は大名妻子の逃亡防止が目的(庶民の厳格な移動統制ではない)

→幕府に倣うように諸藩では人や物の出入りを監視する番所が設置されていく。

○寛永期(1624～1644)

…参勤交代の確立

・本陣：大名や幕府の役人の宿泊場所

・臨本陣：大名の重臣の宿泊場所 ※有力住民の家

17世紀後半(交通の一般利用が増加し、宿場が発展した時代)

○寛文・元禄期(1661～1704)

…全国市場の形成

・武家以外にも、町人・農民による寺社参詣、飛脚、商人の活動が活発化

→五街道における旅籠屋や茶屋の増加

→寛文期(1661～1673)以降、宿駅は地域の中心となる町場となるケースが多い。

※宿駅と宿駅の間に間の村や間の宿ができ、茶屋集落として発展する場合も。

(奈良・京都・大阪…名産品や宿泊業。東海道…名物や土産品に関わる茶屋)

18世紀前半(宿駅周辺の負担が徐々に重くなっていった時代)

○公用の交通が増加(宿駅助御制の改革…幕府が人馬を徴発しやすくなる)

18世紀後半～

○田沼政権下では宿駅での専門的駄賃稼ぎを公認 →輸送業が発展

○飲酒や御馳走を伴う旅が増加 →大きな利益を得る宿泊業者の出現

歴史講座の資料(一部分)

どうしたら自分ごとになっていくのか？

2. 正規の宿駅・鬼柳

●北上周辺における奥州街道筋の正規の宿駅は、金ヶ崎—鬼柳—花巻 【図1】

…鬼柳は、鬼柳—金ヶ崎、鬼柳—花巻 の人馬継立を担当

●鬼柳が正規の宿駅となったのは寛永7年(1630) 【史料1】

…宿駅部分は奥州街道筋。(下鬼柳村の奥州街道筋が鬼柳町)

●夫伝馬は、当初下鬼柳村1村、のち下鬼柳村と北鬼柳村の2村で負担 【史料1】

例外：和賀川増水時の対応

…単なる下り荷物の輸送は、人足が背負って黒沢尻まで。

…公用の人・荷物、賃銭払の荷物の輸送は、花巻まで。

…黒沢尻に宿泊する人の場合は、黒沢尻まで。

(翌日の人足継立は、黒沢尻で行う。)



図1 「大日本早見道中記」江戸時代(幕末力) 個人蔵

(表紙)  
 「慶応二年  
 鬼柳駅処仕成井  
 駅処二拘り書上帳  
 寅六月」  
 一、御支配所鬼柳町之義ハ、元ハ下鬼柳村之内ニ御座候処、寛永七年  
 場ニ被仰付、御往来夫伝馬之義ハ下鬼柳村江被仰付相勤罷在申候、右  
 下鬼柳村千五百石、北鬼柳村ニて三百石、都合千八百石御伝馬高二被  
 成下夫伝馬差出継立罷在申候、  
 (中略)  
 一、和賀川出水ニて馬船通用相成不申候節の下り御荷物、金ヶ崎行同様  
 黒沢尻迄荷物背負賦り申候、御駕籠御長持并外臈物賃銭払ハ花巻迄継  
 立申候、黒沢尻御泊り之節ハ黒沢尻迄参、翌日ハ黒沢尻より人足継  
 立申候、  
 (後略)

【史料1】「鬼柳検断記録 三」慶応二年(一八六六)六月

『新編北上市史』二四二頁

- ネットではみつからない、専門的なことに敏感？
- 学校で学んだ歴史や全国的な歴史が、  
身近な地域の歴史とつながり、自分ごととなる楽しさ。
- 参加者も博物館職員もお互いの引き出しが増えていく。  
  
⇒ 博物館を一緒に考えていく場にできたなら…

- 理想的に述べましたが…  
知的欲求に応える勉強代行屋に陥らないよう、  
今後の『研究報告書』や企画展等を見据えておく。  
⇒ いわば「調査・研究」のバックヤードをみせる講座  
(内容は、先行研究の整理と一次資料からの検証)  
簡単に手に入る情報ではないためか、意外と好感触

### 事例3 特別展「北上川舟運と海」R1(2019)年度

北上市域は北上川とともに発展した場所…

北上川は、他地域ではどうみえているのだろうか？

⇒学芸職員の皆さんに声をかけてみよう！

(盛岡、紫波、花巻、奥州、一関)

- 各地域の調査→寄稿→資料情報→展示会→フォーラム
- 様々な見え方、切り口を実感。人のつながりが財産

【展示会期：令和元年9月21日(土)～12月8日(日)】



・ごあいさつ	2
江戸時代の北上川と北上川舟運	2
・盛岡と北上川	2
・熊谷博史（もりおか歴史文化館学芸員）	2
・流れ流され船と橋、北上川と紫波の人ひと	6
・岩館 岳（紫波町教育委員会生涯学習習課主任）	6
花巻と北上川	10
・小田桐睦弥（花巻市博物館学芸員）	10
北上と北上川	14
・北上川とともに生きた胆江地方の人々	14
・野坂晃平（えさし郷土文化館課長補佐）	18
北上川の破船	22
・相馬美貴子（一関市博物館副館長）	22
北上川舟運史を探る	27
・鱧肝入を務めた下柳千葉家の文書	27
・下柳千葉家文書の調査	28
・高橋和孝（奥州市教育委員会歴史遺産課学芸員）	28
下柳千葉家の歴史と北上川舟運での役割	31
・鈴木雄己（一関市博物館学芸員）	31
海でつながる、海へ広がる	34
・石巻と北上川	34
・江戸につながる海と川の道・千厩流山市を一例に	36
・船船頭から海で活躍した先人・城沢朝吉	38
・展示資料一覧	40

#### 展示解説図録

北上川流域でつながり、広がりを求める。



展示風景 R1. 9. 21～12. 8



学習会（フォーラム）R1. 10. 19



学習会（航路体験）R1. 9. 29

令和元年度特別展「北上川舟運と海」関連事業 フォーラム	129
パネラー 熊谷博史・岩館 岳・小田桐睦弥・野坂晃平・相馬美貴子 / コーディネーター 渋谷洋祐	
川村明子：《研究ノート》北上市立博物館における文化財IPMの取り組み	159
阿部友実：〔収蔵資料紹介〕丹治敬子コレクション ― 資料目録 ― ②	163
渋谷洋祐：北上川流域における破船対応についての一考察 ― 盛岡藩の藩所有船が他領で破船した際の一事例から ―	188(1)

『北上市立博物館研究報告』第22号 R3(2021)3月発行

## まとめ

1. 求められることに向き合った事例
  - 前向きに捉え、博物館の「基本」を駆使してみる。  
⇒「今の人」「未来の人」両方につながっていく。
2. 博物館らしさを出した事例
  - 検証のプロセスを辿る。多様な視点から照射する。  
⇒地域の歴史が自分ごとになっていく。

ご清聴ありがとうございました。